

別紙様式 1

令和 4 年度安浦中学校区研究推進計画

校番 (3 4) 呉市立安登小学校

校長名 上田 美穂子

1 学校教育目標

ふるさとを愛し、よりよい未来の創り手となる児童生徒の育成

2 目指す児童生徒像

- 自校や郷土に誇りと愛着をもち、地域社会に感謝・貢献する児童生徒
- 様々な人々と協働して、主体的に課題解決に取り組む児童生徒

3 育成を目指す資質・能力 (具体の姿)

| 資質・能力 設定した | 知識及び技能 | 思考力, 判断力, 表現力等 | 学びに向かう力, 人間性等 | |
|---------------|--------------------------------|---|--|---|
| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | 感謝・貢献 |
| 後期 | 各教科等に関する個別の知識や技能などを確実に身に付けている。 | 目的に応じて, 多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに, 論理のすすめ方や表現の仕方などを工夫して, 効果的に表現することができる。 | 課題解決のために, 対象に対して自ら働きかけ, 進んで挑戦することができる。 | 地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し, 郷土の発展に貢献することができる。 |
| 中期 | | 目的に応じて, 複数の事柄や資料などを関連付け, 整理したり再構成したりして, 適切に表現することができる。 | 課題解決のための過程において, 対象に対して積極的に働きかけ, 進んで挑戦することができる。 | 郷土の伝統や文化を大切に, 地域社会の一員として貢献を意識して活動に参加することができる。 |
| 前期 | | 目的をもって, 複数の事柄や資料などについて自分で視点をもち, 比較分類, 関連付けてまとめて表現することができる。 | 目的を明確にして, 課題の解決に向けて, 見通しをもって計画的に挑戦することができる。 | 地域のよさを理解し, 感謝する心をもって地域と関わる活動に参加することができる。 |

4 研究主題等

(1) 研究主題

主体的・対話的に深く学びながら, 思考力・判断力・表現力を高める児童生徒の育成
～「逆向き設計シート」の活用と思考を深める学び合いを通して～

(2) 設定理由 (校区の児童生徒の課題分析等)

本中学校区では, 「逆向き設計」論を取り入れ, パフォーマンス課題を位置付けた単元づくりに取り組んできた。平成 2 8 年度に安浦中学校で開発・研究した内容を, 平成 2 9 年度から本中学校区内の全校にも広げ, 小中全教職員で共通の研究テーマに 4 年間取り組んできた。そのことにより, 小中一貫した系統的な指導の在り方や, ゴールから逆算した単元づくりについて理解を深めるとともに, 研究の方向性をそろえて授業実践を行うことができた。そして昨年度は, その研究の成果を研究会として公開し, 参加者に多くの意見を頂いた。

「授業改善部会」の成果としては, 安浦中学校区での「考える授業」とは何かについて検討する中で, 学び合いの思考過程を位置付けたり, 話し合いの視点を明確にしたグループ学習などを取り入れたりしながら授業改善を行った結果, 基礎学力の定着及び活用力の向上が見られた。「『心と体』育成部会」の成果としては, 「逆向き設計」の考え方で, 教育活動の様々な面で見直し, その視点でそれぞれの活動の改善をすることができた。さらに, 小中合同あいさつ

運動で、児童生徒の交流を実施することを通して、児童生徒の自尊感情の高まりや小学生の意識の高まりが見られた。

現6年生と9年生は、令和2年度に新型コロナウイルス感染症流行のために全国学力・学習状況調査が実施されなかったため、小学校では、標準学力調査を、中学校では新学社の学力向上TSPを実施した。その5年時と8年時の全国との比較と、令和3年度の全国学力・学習状況調査による校内と全国との比較は、次のとおりである。

小学校

| 国 語 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 |
|----------------|--------|----------|
| A小5年生時（標準学力調査） | － 0. 9 | － 1. 1 |
| A小6年生時（全国学力調査） | ＋ 8. 4 | ＋ 11. 2 |
| B小5年生時（標準学力調査） | － 6. 9 | － 7. 4 |
| B小6年生時（全国学力調査） | － 4. 4 | － 1. 2 |

| 算 数 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 |
|----------------|---------|----------|
| A小5年生時（標準学力調査） | ＋ 7. 9 | ＋ 6. 8 |
| A小6年生時（全国学力調査） | ＋ 4. 4 | ＋ 9. 2 |
| B小5年生時（標準学力調査） | － 11. 5 | － 6. 8 |
| B小6年生時（全国学力調査） | － 4. 4 | － 6. 8 |

中学校

| 国 語 | 話すこと 聞くこと | 書くこと | 読むこと | 伝統的な言語文化と国語 の特質に関すること |
|---------------|--------------|--------|---------|--------------------------|
| 8年生時(学力向上TSP) | － 1. 0 | ＋ 5. 0 | ± 0 | － 5. 0 |
| 9年生時(全国学力調査) | ＋ 0. 6 | － 5. 3 | － 3. 4 | － 6. 3 |
| 数 学 | 数と式 | 図形 | 関数 | 資料の活用 |
| 8年生時(学力向上TSP) | － 3. 0 | － 9. 0 | － 10. 0 | － 5. 0 |
| 9年生時(全国学力調査) | － 7. 8 | － 2. 8 | － 3. 6 | － 0. 2 |

調査が違うため、単純には比較できないが、小学校、中学校の各教科、各領域において、全国との差が小さくなっており、研究の成果が現れていると考える。本中学校区で実践している「逆向き設計」は、「思考・判断・表現」を向上させる上で非常に有効であると考えられるため、研究を発展充実させ、継続する。また、「逆向き設計」の考え方を生かしながら、児童生徒が主体的・対話的に深く学ぶことができる学習過程はどうあるべきか、特に学び合いの場の工夫について研究を深めていきたい。

(3) 研究仮説

「逆向き設計シート」を活用し、パフォーマンス課題を位置付けた活動を行うとともに、根拠を基にし、筋道立てた自らの考えを広げ深める「学び合い」を位置付けることにより、児童生徒の主体的・対話的で深い学びを促し、思考力・判断力・表現力を高めることができるであろう。

5 研究内容

(1) 逆向き設計シートの活用【授業改善部会】【「心と体」育成部会】

- ア 目指す姿(ゴール)の明確化
- イ 質の高いパフォーマンス課題の設定
- ウ 指導に生かすルーブリックの設定
- エ 子供の問いを生かした単元構成の工夫 (小中合同行事等, 授業以外の場においても「逆向き設計」による計画・実践を試行)

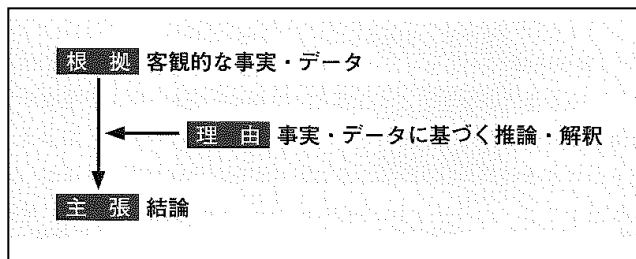
(2) 思考を深める学び合い【授業改善部会】

- ア 目的に応じた学習形態 (ペア学習やグループ学習) を工夫する。
- イ 授業の中に, 本中学校区における「学び合い」の思考過程を位置付ける。

安浦中学校区における「学び合い」(全教科共通の「思考過程」)

- ①理由や根拠に基づいた自分の考えをもつ。
- ②自分の考えと友達の考えを比較・分類・関連付けながら思考する。
- ③ペア学習やグループ学習において, ①②で練った考えを広げたり深めたりする。
- ④自分で考えを再構成する。

- ウ 根拠を基に理由付け, 筋道立てた表現をさせる。



三角ロジック (根拠・理由・主張の三点セット)

- エ 思考の型で考えさせる。

- ・板書で示したりノートに書かせたりして意識させる。
- ・思考の型で考える時の言葉を集めて提示し (言バンク) 使えるようにする。
- ・自ら思考の型を使えるようにする。

- オ 教科等の本質に迫る発問を工夫する。

例・○○と△△の共通点・相違点はありますか。

- ・○○と△△をまとめると, どうなりますか。
- ・○○と△△には, どんな関係がありますか。
- ・つまり, どんなことがいえますか。

- カ タブレットを効果的に活用する。

(3) 主体的・対話的に深く学ぶ基盤づくり【「心と体」育成部会】

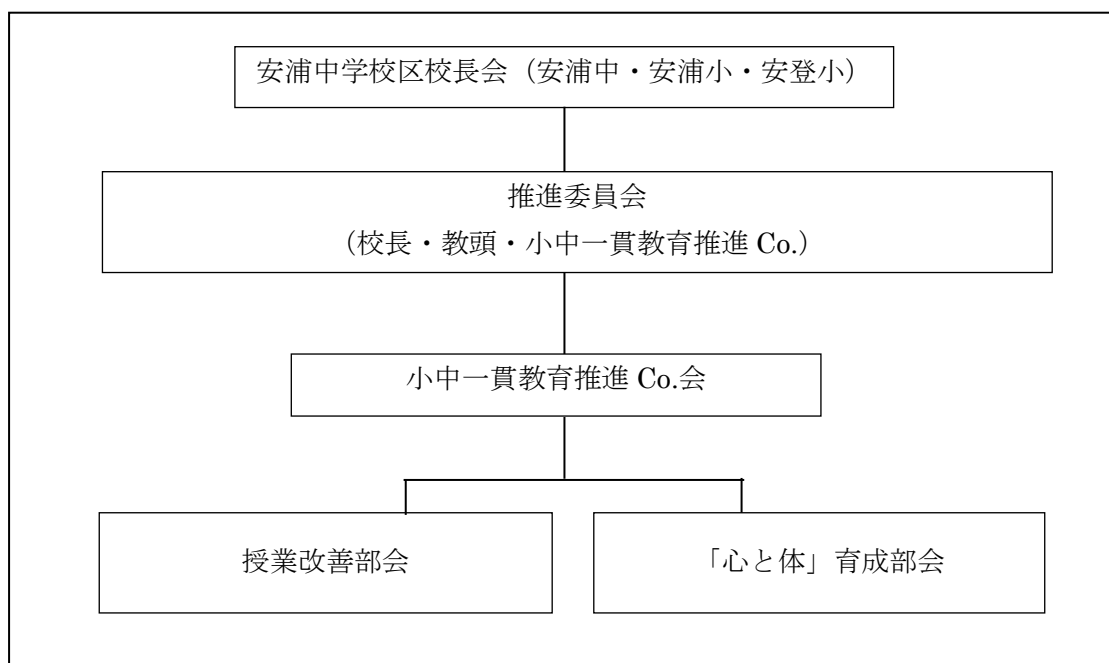
- ア 「学びのすすめ」「パワーアップカード」による生活づくり
- イ 新体力テストを生かした運動の日常化
- ウ 「体いきいきカード」による健康づくり
- エ 「感謝・貢献」の資質・能力を育む学校行事・地域貢献活動及び生徒会・児童会活動

6 検証について

| 検証の視点 | 方法 | 検証の指標 | 現状値 | 達成目標 |
|-----------------------------------|--------------------|---------------------|-----|------|
| ① 逆向き設計シートの活用により、目指す資質・能力は身に付いたか。 | ルーブリック | ルーブリックの尺度2以上（3段階評価） | 70% | 75% |
| ② 学び合いにより思考は深まったか。 | 児童生徒アンケート | 児童生徒の肯定的回答（4段階評定） | 70% | 75% |
| | 児童の振り返りの記述 | 思考が深まった記述の割合 | — | 50% |
| ③ 思考力・判断力・表現力は高まったか。 | 思考・判断・表現をみとる学期末テスト | 児童生徒の得点70点以上の割合 | 70% | 75% |
| | 標準学力調査 | 全国平均との差 | ±0 | +2 |

7 推進体制等

(1) 推進組織



(2) 一部教科担任制実施計画

- ア 乗り入れ授業等（中→小）
 - ・食に関する指導（各学年 年1回程度）
 - ・中学校生活に向けての指導（第6学年 3学期）
 - ・単元を決めた乗り入れ授業（第6学年 年1回程度）
- イ 小学校教科担任制等
 - ・安浦小 第3～6学年（理科）第5学年（書写）
 - ・安登小 第3～6学年（理科）第5学年（体育）第6学年（家庭科）

8 推進計画

| 月 日 | 内 容 | | |
|--------|----------------------------------|---------|----------|
| | 安浦中 | 安登小 | 安浦小 |
| 4月 5日 | 校内研修① | | |
| 4月11日 | 第1回推進委員会（推進計画・研修計画検討合同研修会の持ち方） | | |
| 4月25日 | 第1回合同研修会（推進計画・研修計画確認） | | |
| 4月27日 | 校内研修② | | |
| 5月25日 | 校内研修③ | 校内研究授業① | |
| 6月 8日 | | | 校内研究授業① |
| 6月14日 | 小中一貫教育コーディネーター会① | | |
| 6月21日 | 第2回推進委員会（第2回合同研修会の持ち方） | | |
| 6月24日 | | | 校内研究授業② |
| 6月24日 | 第2回合同研修会（安登小学校授業研究） | | |
| 8月 5日 | 小中一貫教育コーディネーター会② | | |
| 8月22日 | 第3回推進委員会（第3回合同研修会の持ち方） | | |
| 8月30日 | 第3回合同研修会（全国学力調査分析等） | | |
| 9月 8日 | 小中一貫教育コーディネーター会③ | | |
| 9月16日 | 第4回推進委員会（第4回合同研修会の持ち方） | | |
| 9月20日 | | | 校内研究授業③④ |
| 9月22日 | | 校内研究授業② | 校内研究授業⑤ |
| 9月27日 | 第4回合同研修会（安浦中学校授業研究） | | |
| 9月29日 | | | 校内研究授業⑥ |
| 10月 4日 | | | 校内研究授業⑦ |
| 10月 6日 | | 校内研究授業③ | 校内研究授業⑧ |
| 10月11日 | | | 校内研究授業⑨⑩ |
| 10月21日 | | 校内研究授業④ | 校内研究授業⑪ |
| 10月28日 | | | 校内研究授業⑫ |
| 11月 2日 | | | 校内研究授業⑬ |
| 11月 9日 | 校内研究授業 | 校内研究授業⑤ | |
| 11月16日 | 校内研修④ | | |
| 11月22日 | | | 校内研究授業⑭ |
| 11月24日 | | 校内研究授業⑥ | |
| 1月19日 | | 校内研究授業⑦ | |
| 2月 3日 | 小中一貫教育コーディネーター会④ | | |
| 2月10日 | 第5回推進委員会（第5回合同研修会の持ち方） | | |
| 2月15日 | 校内研修⑤ | | |
| 2月17日 | 第5回合同研修会（研究のまとめ 活動・部会報告 次年度に向けて） | | |
| 3月 3日 | 小中一貫教育コーディネーター会⑤ | | |
| 3月22日 | 第6回推進委員会（次年度の推進の方向性） | | |

9 その他

- ・年2回の児童会・生徒会によるあいさつ運動 9月21日・22日 1月18日・19日
- ・8月26日 第1回小中合同行事（清掃活動）
- ・11月4日 第2回小中合同行事（地域みちクリーン活動）
- ・3月 小中一貫教育だよりの発行